

研究成果報告書 (掲載期間 2024. 11. 1－2026. 3. 31)

学術書

- (1) 山内昇, 大名力: コーパスと語用論研究, 第 1 章「コーパスと語用論」(pp. 1-27), 第 5 章「語用論研究資料としての The Movie Corpus の可能性と注意点 (1): コーパスデータの性質」(pp. 157-191), 第 6 章「語用論研究資料としての The Movie Corpus の可能性と注意点 (2): 検索インターフェイスの仕様と検索事例」(pp. 193-232), 第 7 章「コーパス研究失敗知識データベースの構築と公開に向けて」(pp. 233-261), ひつじ書房, 2025.

学会発表

- (1) 山内昇: 話題転換標識における which の指示機能に関する考察: 聞き手の反応からわかること, 日本語用論学会, 日本語用論学会第 28 回大会, 2025 年 11 月, 慶應義塾大学.

学位

- (1) 山内昇: A Study of the Development of the Speaking-of Construction in Present-Day English (現代英語における speaking of 構文の発達に関する研究), 博士(文学), 名古屋大学, 2026 年 3 月.

科研費採択

- (1) 山内昇: JP24K03953, 基盤研究(C), 談話文法理論に基づく speaking of 構文の成立過程に関する研究, 2024～2027.